

石薬師宿～庄野

いしやくし～しょうの

○宿場データ：

- 本陣：3 軒
- 脇本陣：0 軒
- 問屋場：1 軒 ・ 総家数：241 軒
- 人口：991 人 (男 472 人 女 519 人)

歩いた日： 晴れ 曇り 小雨

年 月 日

スタート (時刻 / 場所) :

:

ゴール (時刻 / 場所) :

:

歩いた距離： . km

歩いた歩数： 歩

石薬師宿

四日市宿と亀山宿のあいだが5里あまり(約22km)もあったため、元和2年(1616)に四十四番目の宿として石薬師寺の門前町に開設。その際、村名も高富村から石薬師村に改称。宿の町並みの長さは9町42間(約1km)で、千人ほどの住人の大半が農家の、小規模な宿場だった。十五軒の旅籠屋に飯盛女が少数いた。参勤の大名や旅人は四日市や亀山に泊まり、石薬師宿は休憩の利用が多かった。また伊勢詣の旅人は、江戸方面からは日永追分から伊勢へ、京大坂方面からは関宿東の追分から伊勢へ向かったため、伊勢詣の客もなかった。そのため宿場の経営は苦しく、宿場の不振を理由に伝馬の百人百匹の義務を文化12年(1815)に五十人五十匹に半減、さらに幕末には三十五人、四十四に軽減された。

現在は石薬師出身の歌人で国文学者の佐佐木信綱の歌碑を道沿いに立て、信綱をキーワードに町おこしを行っている。

